

山崎謙 やまざき けん 哲學者。明治二十六年二月、二百十葉縣生れ、平成二年六月十四日歿（一九三一年）。本名謙 けん。昭和五年早稻田大學哲學科卒業。在學中學生社會科學聯合會に參加し、卒業後唯物論研究會に所屬。十二年日本大學教授。終戦直前、高倉テハ脱走事件に二木清と共に関与せられた。戦後日本共産黨に入黨、民主主義科學者協會會員、労働者教育協會講師として啓蒙活動に従事。四十一年自共ハ造反、修正主義批判の聲明を發表した。

著書は『解釋學概論』（昭和十年一月二十八日東冠書房）、『表現學概論』（昭和十年十月十六日東冠書房）、『次代の理念』（昭和十五年十一月十五日育生社「新世代叢書」）、『哲學者の啓蒙—京都學派批判』（昭和二十一年九月二十日大月書店）、『変革と反逆の卅年—山崎謙自伝』（昭和五十四年十一月二十一日第三書館）等五十點に及ぶ。

